

地域力向上事業（助成事業）評価シート

別紙

<令和7年度> （ 浜名区 区振興課 ）

事業名	令和7年度はままつ演劇クラブ（補助回数：2回目）			
実施団体名	教育演劇研究協会			
事業の目的	・浜松市の児童生徒が、学校や学年を超えた文化活動を通して、表現やコミュニケーション能力を育みながら、地域文化活動に参加できる場を提供することが目的。また、子どもたちの居場所づくりとしての役割も担う。			
事業の成果及び内容	・児童青少年のための演劇クラブの活動を、浜名区内を拠点に実施。市内在住の小5から中2の児童22名が参加。うち、区内在住者は16名。練習と成果発表会で35回、131時間の活動をおこなった。 ・3月14日に浜北文化センター小ホールで成果発表会を実施。劇団たんぼぼの台本を教材に成果発表。来場者は250名だった。			
総事業費	1,455,803円	補助金額	573,000円	
評価	項目	ランク		
		A	B	C
	1) 事業目的の達成度	高い	普通	低い
	2) 地域資源の活用度	高い	普通	低い
	3) 地域への貢献度	高い	普通	低い
	4) 財政支援の妥当性	高い	普通	低い
	5) 費用対効果	高い	普通	低い
今後改善を期待する点	(補助最終年度ではないため、不記載)			
意見等	<p>・学校や学年を超えた文化活動の場を提供し、参加者22名全員の継続的な活動と250名の来場者を集めた成果発表会の成功により、事業目的は達成されている。特に、学校生活で悩みを抱える子どもたちが前向きになったという報告は、単なる文化活動を超えた居場所づくりとしての価値を示しており、地域における子どもの成長支援という公益性の高い成果が得られたと評価できる。今後は、部活動の地域移行という社会的ニーズに対応する先進的モデルとして、地域クラブ認定の取得を視野に入れた持続可能な運営体制の構築に期待したい。</p> <p>・浜名区を中心とした地域密着型の事業として成果を上げており、費用に対して適切な効果が得られていると考える。今後は企業協賛の獲得、運営の効率化など、財政的自立性を高めるための具体的な計画を策定し、補助金に依存しない持続可能な事業モデルへの移行を進めることが望まれる。</p>			

【評価のポイント等】

以下の項目に照らして評価を実施する。

- 1) 事業目的の達成度
提案時点で掲げた目的をどの程度達成したか。
- 2) 地域資源の活用度
区内の地域資源（特産品、自然、文化資産、人材など）を活かした事業か。
- 3) 地域への貢献度
事業の実施により、地域の課題解決や、地域の魅力の掘り起こしがなされているかどうか。
- 4) 財政支援の妥当性
市が補助金を支出して支援を行う妥当性があるか。（財政面で市の支援を必要とする事業であるかどうか）
- 5) 費用対効果
事業実施により得られた効果と、かかる経費のバランスは適切か。

<今後改善を期待する点>

補助最終年度の事業の場合は、「自立的に活動を継続していくのであれば、改善を期待する点」を記載。

<意見等>

- ・審査会または区協議会（中央区又は浜名区にあっては地域分科会）で出された意見を記載する。
- ・事業の特に優れていた点、今後改善を期待する点、その他特記事項等を記載。

地域力向上事業（助成事業）評価シート

別紙

<令和7年度> (浜名区 区振興課)

事業名	食と農で、浜松を元気に（補助回数：2回目）			
実施団体名	小さなタネの会			
事業の目的	・温暖な気候や長い日照時間、海、川、湖、山などの豊かな自然環境を生かしたサステイナブルな農業の推進や、学校給食や家庭などでの農作物の地産地消を推進するための啓発をする。			
事業の成果及び内容	・講演会や農家とお話会、余剰作物を使ったランチ会などを実施。サステイナブルな農業の推進や地産地消の啓発に寄与することができた。			
総事業費	621,829 円	補助金額	248,000 円	
評価	項目	ランク		
		A	B	C
	1) 事業目的の達成度	高い	普通	低い
	2) 地域資源の活用度	高い	普通	低い
	3) 地域への貢献度	高い	普通	低い
	4) 財政支援の妥当性	高い	普通	低い
5) 費用対効果	高い	普通	低い	
今後改善を期待する点	(補助最終年度ではないため、不記載)			
意見等	<p>・本事業は、目的に即した事業が展開されており、補助金によるスタートアップ支援はできている。今後は、この基盤を大切にし、事業の自立的・継続的な運営体制の確立が期待される。具体的には、JA ファーマーズマーケットとの連携強化や、参加費・農産物販売等による収益基盤の構築を進め、補助金に依存しない持続可能な事業モデルへの移行を図ることが望ましい。</p> <p>・宮口の田んぼ周辺での居場所づくりや果樹栽培など、活動範囲の拡大が計画されているが、事業の質と継続性を確保するためには、段階的かつ計画的な展開が重要である。参加者78名という規模や、複数地域での活動展開という広がりを踏まえ、団体スタッフ12名の体制で無理なく運営できる範囲を見極めながら、コア活動の明確化と優先順位づけを行うことが推奨される。また、本事業で培われた農家との信頼関係やJAとの連携を生かし、地域の農業関係団体や行政との協働体制をさらに強化することで、浜名区における地産地消モデルの確立と、他地域への波及効果が期待できる。</p> <p>・今後は、参加者アンケートなどにより満足度の調査や問題点の洗い出しを行い、事業のブラッシュアップに努めていただきたい。</p>			

【評価のポイント等】

以下の項目に照らして評価を実施する。

- 1) 事業目的の達成度
提案時点で掲げた目的をどの程度達成したか。
- 2) 地域資源の活用度
区内の地域資源（特産品、自然、文化資産、人材など）を活かした事業か。
- 3) 地域への貢献度
事業の実施により、地域の課題解決や、地域の魅力の掘り起こしがなされているかどうか。
- 4) 財政支援の妥当性
市が補助金を支出して支援を行う妥当性があるか。（財政面で市の支援を必要とする事業であるかどうか）
- 5) 費用対効果
事業実施により得られた効果と、かかる経費のバランスは適切か。

<今後改善を期待する点>

補助最終年度の事業の場合は、「自立的に活動を継続していくのであれば、改善を期待する点」を記載。

<意見等>

- ・審査会または区協議会（中央区又は浜名区にあっては地域分科会）で出された意見を記載する。
- ・事業の特に優れていた点、今後改善を期待する点、その他特記事項等を記載。

地域力向上事業（助成事業）評価シート

別紙

<令和7年度> （ 浜名区 区振興課 ）

事業名	内野自治会ふれあい事業（補助回数：1回目）			
実施団体名	内野自治会			
事業の目的	・4町内会が合同で事業を実施することにより、地域コミュニティの活性化や絆を深める。			
事業の成果及び内容	・6月22日に長篠陣太鼓保存会による太鼓、浜名中学校吹奏楽部による演奏、ピンゴゲームを実施し、地域コミュニティの活性化や絆を深めることができた。			
総事業費	799,332円	補助金額	395,000円	
評価	項目	ランク		
		A	B	C
	1) 事業目的の達成度	高い	普通	低い
	2) 地域資源の活用度	高い	普通	低い
	3) 地域への貢献度	高い	普通	低い
	4) 財政支援の妥当性	高い	普通	低い
	5) 費用対効果	高い	普通	低い
今後改善を期待する点	(補助最終年度ではないため、不記載)			
意見等	<p>・4町内会合同で333名が参加し、長寿会・子供会・育成会など多世代の組織が協働する体制を構築したことは、コロナ禍以降の地域コミュニティ再生のモデルケースとして評価でき、浜名中学校吹奏楽部という地域資源の活用も見られる。</p> <p>・アンケートで「今後も継続して欲しい」という声が多く寄せられていることから、自立的な運営に向けた参加費の設定や地域企業からの協賛金募集など、段階的な自走化の仕組みづくりを検討することが、本事業の持続可能性を高める上で望ましい。</p>			

【評価のポイント等】

以下の項目に照らして評価を実施する。

- 1) 事業目的の達成度
提案時点で掲げた目的をどの程度達成したか。
- 2) 地域資源の活用度
区内の地域資源（特産品、自然、文化資産、人材など）を活かした事業か。
- 3) 地域への貢献度
事業の実施により、地域の課題解決や、地域の魅力の掘り起こしがなされているかどうか。
- 4) 財政支援の妥当性
市が補助金を支出して支援を行う妥当性があるか。（財政面で市の支援を必要とする事業であるかどうか）
- 5) 費用対効果
事業実施により得られた効果と、かかる経費のバランスは適切か。

<今後改善を期待する点>

補助最終年度の事業の場合は、「自立的に活動を継続していくのであれば、改善を期待する点」を記載。

<意見等>

- ・審査会または区協議会（中央区又は浜名区にあっては地域分科会）で出された意見を記載する。
- ・事業の特に優れていた点、今後改善を期待する点、その他特記事項等を記載。

地域力向上事業（助成事業）評価シート

別紙

<令和7年度> （ 浜名区 区振興課 ）

事業名	「令和に読む浜北万葉ものがたり」漫画本の発行事業（補助回数：1回目）			
実施団体名	浜北万葉研究会			
事業の目的	・次代を担う若者を中心に万葉集の素晴らしさを伝え、万葉文化に触れるきっかけを作ること。			
事業の成果及び内容	・漫画本を発行し、区内の中学校図書館や中学3年生に配布することで、次代を担う若者に万葉文化に触れるきっかけを作ることができた。 ・浜北万葉まつりのPRや協働センターでの万葉講座に漫画本を活用し、万葉集の素晴らしさを伝えることができた。			
総事業費	2,633,786円	補助金額	1,250,000円	
評価	項目	ランク		
		A	B	C
	1) 事業目的の達成度	高い	普通	低い
	2) 地域資源の活用度	高い	普通	低い
	3) 地域への貢献度	高い	普通	低い
	4) 財政支援の妥当性	高い	普通	低い
	5) 費用対効果	高い	普通	低い
今後改善を期待する点	(補助最終年度ではないため、不記載)			
意見等	<p>・若年層への万葉文化の普及に向け、地域資源を効果的に活用しながら浜名区全体の文化的一体感の醸成にも貢献している点は評価できる。配布した漫画本が実際にどの程度読まれ、若年層の万葉文化への関心がどのように変化したかを把握するため、中学校や図書館における貸出状況の追跡調査や、読者アンケートの実施などの効果測定まで出来ればなお良かった。</p> <p>・本事業は印刷費用が大きな割合を占める初期投資型の事業であるため、費用対効果をさらに高めるためには、作成した漫画本を活用した講話の開催や、デジタル化によるWeb展開などを検討する必要がある。</p>			

【評価のポイント等】

以下の項目に照らして評価を実施する。

- 1) 事業目的の達成度
提案時点で掲げた目的をどの程度達成したか。
- 2) 地域資源の活用度
区内の地域資源（特産品、自然、文化資産、人材など）を活かした事業か。
- 3) 地域への貢献度
事業の実施により、地域の課題解決や、地域の魅力の掘り起こしがなされているかどうか。
- 4) 財政支援の妥当性
市が補助金を支出して支援を行う妥当性があるか。（財政面で市の支援を必要とする事業であるかどうか）
- 5) 費用対効果
事業実施により得られた効果と、かかる経費のバランスは適切か。

<今後改善を期待する点>

補助最終年度の事業の場合は、「自立的に活動を継続していくのであれば、改善を期待する点」を記載。

<意見等>

- ・審査会または区協議会（中央区又は浜名区にあっては地域分科会）で出された意見を記載する。
- ・事業の特に優れていた点、今後改善を期待する点、その他特記事項等を記載。

地域力向上事業（助成事業）評価シート

別紙

<令和7年度> (浜名区 区振興課)

事業名	セーフティバイクチャレンジイベント in 浜北（補助回数：2回目）			
実施団体名	バイクの集い in 浜北実行委員会			
事業の目的	・イベントを通じて、運転者の安全運転技術を向上させ、地域住民の安全意識を啓発すること。			
事業の成果及び内容	<ul style="list-style-type: none"> ・11月2日に、プレ葉ウォーク浜北駐車場で、バイクによる低速走行の走破タイムを競うイベントを実施。競技者および観客の交通安全意識向上につなげた。 ・マーチングバンドによるパレードやトライアルバイクのデモンストレーション、電動キックボードに関する交通教室などで交通安全啓発も実施した。 			
総事業費	271,668円	補助金額	106,000円	
評価	項目	ランク		
		A	B	C
	1) 事業目的の達成度	高い	普通	低い
	2) 地域資源の活用度	高い	普通	低い
	3) 地域への貢献度	高い	普通	低い
	4) 財政支援の妥当性	高い	普通	低い
	5) 費用対効果	高い	普通	低い
今後改善を期待する点	(補助最終年度ではないため、不記載)			
意見等	<ul style="list-style-type: none"> ・初回の取り組みから参加者が大幅に増加し、地域における交通安全イベントとして定着しつつあることは評価できる。今後は企業協賛の拡大や参加費の導入など、財政的自立に向けた取り組みを進め、持続可能な事業運営体制を構築することが望まれる。 ・警察、自衛隊、地元企業、教育機関など多様な主体との協働体制が構築されており、単なるイベントにとどまらず、地域全体で交通安全に取り組むネットワーク形成につながっている点は評価できる。 			

【評価のポイント等】

以下の項目に照らして評価を実施する。

- 1) 事業目的の達成度
提案時点で掲げた目的をどの程度達成したか。
- 2) 地域資源の活用度
区内の地域資源（特産品、自然、文化資産、人材など）を活かした事業か。
- 3) 地域への貢献度
事業の実施により、地域の課題解決や、地域の魅力の掘り起こしがなされているかどうか。
- 4) 財政支援の妥当性
市が補助金を支出して支援を行う妥当性があるか。（財政面で市の支援を必要とする事業であるかどうか）
- 5) 費用対効果
事業実施により得られた効果と、かかる経費のバランスは適切か。

<今後改善を期待する点>

補助最終年度の事業の場合は、「自立的に活動を継続していくのであれば、改善を期待する点」を記載。

<意見等>

- ・審査会または区協議会（中央区又は浜名区にあっては地域分科会）で出された意見を記載する。
- ・事業の特に優れていた点、今後改善を期待する点、その他特記事項等を記載。

地域力向上事業（助成事業）評価シート

別紙

<令和7年度> （ 浜名区 区振興課 ）

事業名	はまきた還暦フェス（補助回数：1回目）			
実施団体名	還暦フェス実行委員会			
事業の目的	・浜北地域の魅力の再発見やイベントを通して地域コミュニティの創出や交流の活性化を図るきっかけづくりとする。			
事業の成果及び内容	・3月8日にはまきたプラザホテルでイベントを実施。浜北地域の魅力の再発見や地域コミュニティの創出、交流の活性化を図るきっかけづくりができた。			
総事業費	1,945,650円	補助金額	500,000円	
評価	項目	ランク		
		A	B	C
	1) 事業目的の達成度	高い	普通	低い
	2) 地域資源の活用度	高い	普通	低い
	3) 地域への貢献度	高い	普通	低い
	4) 財政支援の妥当性	高い	普通	低い
	5) 費用対効果	高い	普通	低い
今後改善を期待する点	(補助最終年度ではないため、不記載)			
意見等	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の多様な主体を巻き込んだ意義のあるイベントが実現できており、スタートアップ事業として評価できる。今後の継続開催に向けては、参加者からの参加費徴収やスポンサー企業の開拓など、財政的自立を目指した収入確保策の検討が望まれる。 ・本事業で構築された人的ネットワークを一過性のものとせず、継続的な地域活動につなげていくことが重要である。次回開催時には、本事業をきっかけに生まれた具体的な活動事例や成果を可視化し、地域への波及効果をより明確に示すことで、事業価値がさらに高まると考えられる。 ・健康増進等に関する情報案内ブースの質や量を向上させることにより、有益な情報を持ち帰ることができる性質をブラッシュアップするなど、事業の今後の成長に期待する。 			

【評価のポイント等】

以下の項目に照らして評価を実施する。

- 1) 事業目的の達成度
提案時点で掲げた目的をどの程度達成したか。
- 2) 地域資源の活用度
区内の地域資源（特産品、自然、文化資産、人材など）を活かした事業か。
- 3) 地域への貢献度
事業の実施により、地域の課題解決や、地域の魅力の掘り起こしがなされているかどうか。
- 4) 財政支援の妥当性
市が補助金を支出して支援を行う妥当性があるか。（財政面で市の支援を必要とする事業であるかどうか）
- 5) 費用対効果
事業実施により得られた効果と、かかる経費のバランスは適切か。

<今後改善を期待する点>

補助最終年度の事業の場合は、「自立的に活動を継続していくのであれば、改善を期待する点」を記載。

<意見等>

- ・審査会または区協議会（中央区又は浜名区にあっては地域分科会）で出された意見を記載する。
- ・事業の特に優れていた点、今後改善を期待する点、その他特記事項等を記載。

地域力向上事業（助成事業）評価シート

別紙

<令和7年度> （ 浜名区 区振興課 ）

事業名	UNIZONE2026 開幕戦：eモータースポーツを満喫しよう（補助回数：1回目）			
実施団体名	遠州ハママツモータース			
事業の目的	<p>・「浜松から金メダリストを」を合言葉に、人材の発掘・育成、eスポーツの振興を目指す。単なるレースゲームではなく、開発したシステムにより交通安全セミナーの実施やヒヤリハットなどを体感できる環境を提供し、日々の交通安全への意識づけをすることで、政令指定都市人口10万人当たりの人身交通事故件数ワースト1脱却を目指す。また、eスポーツ体験は高齢者の認知症予防に繋がり、健康寿命を延ばすことで、医療費削減の一助とする。世代間交流を促進し、安心安全で元氣な街づくりに繋げる。</p>			
事業の成果及び内容	<p>・3月7日・8日にサンストリート浜北でイベントを実施。幅広い世代の参加が見られ、世代間交流を促進できた。</p> <p>・ラジコンカーを使用した運転システムや、eモータースポーツの体験参加により、交通安全や運転意識向上にも寄与できた。</p>			
総事業費	2,360,000円	補助金額	550,000円	
評価	項目	ランク		
		A	B	C
	1) 事業目的の達成度	高い	普通	低い
	2) 地域資源の活用度	高い	普通	低い
	3) 地域への貢献度	高い	普通	低い
	4) 財政支援の妥当性	高い	普通	低い
5) 費用対効果	高い	普通	低い	
今後改善を期待する点	(補助最終年度ではないため、不記載)			
意見等	<p>・UNIZONE 公式戦の継続開催や浜松市ウェルネス推進事業本部との連携など、具体的な発展計画が示されており、継続的な地域振興事業として成長する可能性が評価できる。今後は本事業で培ったノウハウを活かし、補助金に依存しない自立的な運営体制の確立を目指されたい。</p> <p>・eスポーツという新しい分野を絡めて交通安全啓発や健康寿命延伸など多面的な社会課題解決にアプローチしている点は先進的である。今後は参加者の追跡調査や効果測定を行い、交通事故削減や認知症予防への具体的貢献度を数値化することで、さらなる事業価値の向上と他地域へのモデル展開が期待される。</p> <p>・気負わず体験に参加出来る仕組みや、集客のための広報、アクセスしやすい会場など、人が集まる工夫をお願いしたい。</p>			

【評価のポイント等】

以下の項目に照らして評価を実施する。

- 1) 事業目的の達成度
提案時点で掲げた目的をどの程度達成したか。
- 2) 地域資源の活用度
区内の地域資源（特産品、自然、文化資産、人材など）を活かした事業か。
- 3) 地域への貢献度
事業の実施により、地域の課題解決や、地域の魅力の掘り起こしがなされているかどうか。
- 4) 財政支援の妥当性
市が補助金を支出して支援を行う妥当性があるか。（財政面で市の支援を必要とする事業であるかどうか）
- 5) 費用対効果
事業実施により得られた効果と、かかる経費のバランスは適切か。

<今後改善を期待する点>

補助最終年度の事業の場合は、「自立的に活動を継続していくのであれば、改善を期待する点」を記載。

<意見等>

- ・審査会または区協議会（中央区又は浜名区にあっては地域分科会）で出された意見を記載する。
- ・事業の特に優れていた点、今後改善を期待する点、その他特記事項等を記載。